

第67回建築士会全国大会 おおさか大会に参加して

呉支部 島谷 勝己



大会テーマ“建築からソーシャルデザインへ”

9月19日(金)

9:00～11:30：木の建築賞、景観まちづくり、青年委員会、女性委員会など10のセッション

9:30～11:30：国際シンポジウム

10:00～11:30：大阪講演会

「建築の都 大阪～大阪から未来へ～」

「大阪府北部における日本庭園回廊の提唱」

13:00～14:30：記念講演会「循環経済と未来建築」

C・S・チャージッヒ 氏

15:00～17:00：大会式典

17:30～19:00：大交流会

9月20日(土)～21日(日)

大阪・関西万博(2コース)

エクスカーション(6コース)

初日の19日は、中之島のグランキューブ大阪で開催されたクリスチャン・サンダー・チャージッヒ氏による記念講演会『循環経済と未来建築』を拝聴しました。

20日はいよいよ万博会場です。私は運よく藤本壮介氏による万博会場現地案内に当選できたため、集合場所へ向かいました。



藤本壮介氏はまず、東側リング柱脚にあるギネス認定証と全体マップによる万博会場の概要について話されました。大屋根リングは直径675m、1周2km、高さ22m、柱間の距離を3.6mとして人が8畳間の中で安らぎを感じるヒューマンスケールにされたとの事です。

大屋根リングはゼネコン3社が担当した貫工法の金属製の楔の形状がそれぞれ違っているのだとか。訪れた方は気づかれましたか。それから、1階層を東に向けて南下し、ポルトガル館付近よりエスカレーターで上部へ。徐々に万博会場の全貌が姿を現し、南には海が開けてそれは圧巻の景色を楽しむことができました。

パビリオンには高さ制限を設け、これは資金が潤沢な国は制限がないと上へ上へと建築する傾向があり、資金の少ない国との差をつけない配慮だと。それでも意識のある国は屋根上(大屋根リングから見える)も意識して、例えばポルトガル館の屋根は波を意識した形状になっていました。

藤本壮介氏には終始穏やかにお話ししていました。途中何度か警備員に「立ち止まらないでください」と注意を受けたのですが。

その後、東側から北上し階段を下りドイツ館へと向かいました。特徴的だったのは木造の現しの柱と梁をサークル状につなぎ合わせひとつの円柱の建物を造っていました。

次に一行はヨルダン館に向かいました。ヨルダン館の赤砂はとても細やかで、大屋根リングを歩いたあの足の裏すべてを優しくケアしてくれるようでした。

以前呉支部の建築セミナーで藤本壮介氏をお招きしたことがあります。その際の講演内容は住宅などの形状や間仕切り等の考え方「ボーダレス」だったかと思います。

そのお話を伺った当時は独特な発想をされる方だなと思っていましたが、今回、何十年か後に世界を取り込みボーダレスな大屋根リングを実現された藤本壮介氏にとても胸が熱くなりました。



国際交流フェスティバル「ペあせろべ2025」を開催しました!

広島支部 若井 信

令和7年(2025年)10月5日(日)に、広島駅南口地下広場において「ペあせろべ2025」を公益事業として開催しました。昭和59年(1984年)から開催している「ペあせろべ」ですが、このたびは初めての屋内開催となりました。屋内開催とはいっても、広島駅の前ということもあり、海外の方も多く立ち寄っていただき、例年の屋外開催とも遜色のない国際色豊かなフェスティバルとして盛り上がりました。

このたびの「ペあせろべ2025」では、10のステージプログラムが組まれ、午前の部では、外国人関連の相談窓



オープニング



会場の雰囲気

口の説明、和太鼓の演奏、K-POP等を中心としたダンスやハワイアンの音楽にのせたフラダンス、韓国の歌曲などが行われました。午後の部では、国際交流団体からのメッセージや歌唱、腰太鼓、中国の東北地方の

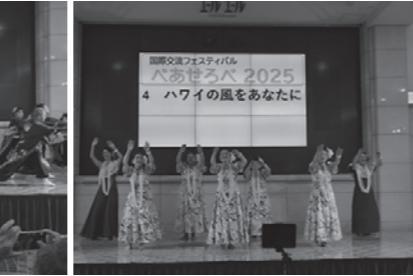


ステージ／和太鼓

なお、建築士会としても青年部と女性部がブースを出し、青年部のブースにおいては、広島県を中心に活躍する若手建築士と一緒に行う木のジャングルジム「くもんだー」の組み立て体験、青年部活動報告のパネル展示、耐震モデル体験を行い、女性部のブースにおいては、活動の紹介、防災に役立つパラコードによるアクセサリー手作り体験等といった企画を行い、好評のうちに終えることができました。



ステージ／南中ソーラン



ステージ／ハワイアン



耐震モデル体験(青年部会)



くもんだー(青年部会)



防災パラコードつくり(女性部会)

「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーにより確かなサービスを提供します

■ 指定確認検査機関 ■ 指定構造計算適合性判定機関 ■ 登録住宅性能評価機関
■ 登録建築物エネルギー消費性能判定機関 ■ 適合証明業務(フラット35)
■ 住宅瑕疵担保責任保険業務 ■ 調査診断業務
(違法性調査、定期報告等)

12条点検は弊社におまかせください

株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <https://www.jesupport.jp/> e-mail : mail@jesupport.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL : 082-836-3300 FAX : 082-228-8201
東京支店：東京都千代田区神田富山町22-7F
福岡支店：福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17-8F

1級建築士設計製図試験 課題対策講習会を開催

福山支部 青年委員会 吹抜 恵介

■受験生を対象に講習会を実施

福山支部では藤井青年委員長を中心に企画を立て、9月7日(日)に尾道市役所にて、1級建築士設計製図試験の課題対策講習会を開催しました。受験生に対し、課題に即した実例見学とWEB講義を行い、試験に向けた実践的な学習の機会を提供しました。

■尾道市役所の見学と専門解説

今年度の試験課題が「庁舎」であることから、尾道市役所を見学しました。本企画は、広島県建築士会尾道支部の協力により実現したものです。講師には、1級建築士育成コミュニティ「教育的ウラ指導」代表の荘司和樹氏を招聘し、午前中はWEB会議による館内の解説と質問受付、午後からの館内見学は尾道支部副支部長笠井氏の案内により防火設備・ゾーニング・免震構造などについて庁舎の専門的な解説が行われました。

■交流と情報共有の場に

福山支部青年委員会を中心に、尾道支部青年委員会の有志の協力も得て、受験生同士や関係者との情報交換が活発に行われました。現地参加者が15名、WEBを含める70名近く参加し、充実した講習会となりました。

また、直近の合格者である福山支部の井手氏・大林氏・長尾氏が、自身の体験談や試験対策に関するアドバイスを提供し、受験生にとって大きな励みとなりました。受講生にヒアリングすると勉強の場を提供してもらいためになった、来年度も今年のような企画を実施してほしい等前向きな意見が多く、福山支部若手も来年度に向けた視点で今回の企画を参考にすると意気込みをあらわしていました。今回の企画はやっていく価値が十分あると確信しています。



指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録省エネ判定機関(中国地方整備局長登録第3号)
BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適応

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぽりカバーしています

Enercia 中国電力グループ
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<https://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル
TEL: 082-545-5607 FAX: 082-545-5608

建物に関わる全ての人々に感動を

株式会社 ティーエス・ハマモト